



# かもみーる通信



62号 2015年8月

## トピックス

- \* ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）
- \* 後期授業案内
- \* タメになるジェンダーのお話
- \* 研究室見学会
- \* カモミールこども大学



## 平成27年度科学技術人材育成費補助事業 「ダイバーシティ研究環境実現 イニシアティブ（連携型）」



### 実施に向けて共同実施機関と協定を締結

副学長（多様性人材活力推進担当） 林 正子

「かもみーる通信」61号（2015年7月号）で第一報をお知らせしましたように、岐阜大学が代表機関として、共同実施機関（岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社）とともに連携しておこなう「地域循環型女性研究者育成・支援プログラム」が、平成27年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境イニシアティブ（連携型）」に選定されました。

昨年度からこれまでに4機関の連携協議会を7回重ね、連携事業の構想・企画・申請作業をおこない、実施体制を調べてきました。連携協議会の構成メンバーは、岐阜大学男女共同参画推進室（副学長、人材開発部長、特任教員）、岐阜薬科大学ダイバーシティ推進室（副学長、薬科学科長、附属薬局長）、岐阜女子大学女性研究者支援組織（学長補佐、事務局次長）、アピ株式会社キャリアアップ推進室（室長、副室長）の計10名です。

「地域循環型女性研究者育成・支援プログラム」のチーフ・コーディネーターを、岐阜大学男女共同参画推進室の相原征代 特任助教が担当し、事務局を岐阜大学人材開発部職員育成課のメンバー5名が担っています。

この度、本プログラムが本格的に始動するにあたり、4機関長の出席を得て、共同実施に関する協定が締結されましたので、ご報告いたします。

8月5日（水）岐阜大学に、稲垣隆司 岐阜薬科大学長、後藤忠彦 岐阜女子大学長、野々垣孝彦 アピ株式会社社長をお招きし、共同実施に関する協定書にご署名いただきました。合同記者会見に続き、森脇久隆学長が議長を務める第1回共同実施機関長会議を開催し、「地域循環型女性研究者育成・支援プログラム」の2015年度から2020年度まで6年間の事業計画（補助金交付期間は2017年度まで）に関する諸事項を改めて確認しました。

女性研究者研究環境整備のための9項目の取り組み、研究力向上のための11項目の取り組み、上位職への積極登用に向けた8項目の取り組みにつきましては、順次、ホームページやニュースレターでご紹介してまいります。

本プログラムは女性研究者を対象とする補助事業によるものでありますが、引き続き、男女共同参画推進室／人材開発部職員育成課では、堅実かつ実効性のある取り組みによって、男性研究者への波及効果、本学のダイバーシティ実現を趣旨として、広く構成員のワーク・ライフ・バランス改善をめざしてまいります。

皆様のご支援、ご協力、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 「ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論）」開講

男女共同参画推進室の相原征代特任教員がコーディネーターを務める全学共通教育科目として、「ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論）」（後期・水曜1限）が開講されます。オムニバス形式で、さまざまな分野の講師が、それぞれの観点から「男女共同参画」について講義します。いずれの回も興味深い内容になっています。多くの学生さんの受講をお待ちしています。教職員の方々には、身近な学生さんにぜひ受講をお勧めください。

日にち	テーマ	担当
第1回 10月 7日(水)	イントロダクション:現代日本社会における男女共同参画論の意義	相原 征代
第2回 10月14日(水)	岐阜大学における男女共同参画推進の取り組み	林 正子
第3回 10月21日(水)	健康で充実した人生のための健康基礎知識	山本 真由美
第4回 10月28日(水)	「妊活」のすすめ — 子どもを持つことについて考えてみませんか	相原 征代
第5回 11月 4日(水)	妄想用婚姻届で考える「ライフデザインセミナー」② (講師:(株)リクルートマーケティングパートナーズ プライダル総研 落合歩)	岐阜県
第6回 11月11日(水)		
第7回 11月18日(水)	家事労働のアウトソーシング化と移民労働 — イタリアの例から	宮崎 理枝 (市立大月短期大学)
第8回 11月25日(水)	男女共同参画社会のための岐阜県の取り組み	河野 恭子 (岐阜県子ども・女性局長)
第9回 12月 2日(水)	男女共同参画と勤務環境—医療現場を例に	清島 真理子
第10回 12月 9日(水)	シャドウ・ワーク — 近代産業社会の「影」	相原 征代
第11回 12月16日(水)	「デートDV — 今の恋愛、本当にいい関係ですか？」	寺松 みどり (岐阜市女性センター)
第12回 1月 6日(水)	ヨーロッパにおける移民問題の起源とスカーフ問題	相原 征代
第13回 1月20日(水)	「シェアハウスの『家族』たち」 — 家族だから一緒に住むの?一緒に住むから「家族」なの?	久保田 裕之 (日本大学)
第14回 1月27日(水)	男女共同参画社会で「働く」ための就職活動セミナー	金森 敏
第15回 2月 3日(水)	男女共同参画社会の実現に向けて(まとめ)	相原 征代

## タメになるジェンダーのお話

その2

男女共同参画推進室コンシェルジュ相原征代特任助教の授業「労働とジェンダー」から少子化にまつわるお話を不定期でお届けしています。

前回(5月発行59号)は、『少子化社会対策大綱』(2015年3月20日閣議決定)から私の気になる点を紹介しましたが、今回は、政府関連の少子化対策に関するデータを紹介し、その結果についてフランスと比較しながらコメントをしたいと思います。『第14回出生動向基本調査(夫婦調査)2011年』によると、妻の年齢50歳未満の初婚同士の夫婦の理想子ども数は2.42人なのに対し、予定子ども数は2.07人となっており、依然として「望んでもなかなか子どもを持ちづらい社会」は続いていると言えます。理想の子ども数を持たない一番の理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから(60.4%)」です。これはほかの理由(年齢等)と比べてダントツのトップで、この傾向はもう十数年変わっていません。ちなみにフランスではどのような結果が出ているかデータを探してみましたが、「子どもを育てるのにいくらかかるか、考えたことなどないでしょう?」から始まるいくつかの育児関連記事しかありませんでした。(ちなみに100,000ユーロ、約1300万円という試算が紹介されていました。)ほかのデータを見ても、子どもを持つのを躊躇させる「お金に関する不安」は、「子どもにお金がかかる」という理由ではなく、「失業による収入の不安定」というものでした。私の印象でも、フランスでは「子どもにはお金がかかる」という認識・問題意識はあまりないように思いました。

(次回に続く)

# サイエンス夢追い人育成プロジェクト (女子大学院生による出前講義) 発展型研究室見学会

平成27年7月22日(水)に、発展型研究室見学会を実施し、岐阜県立長良高等学校2年生の理系を選択している女子生徒24名の参加がありました。

研究室見学では、教育学部の吉松三博教授、流域圏科学研究センターの李富生教授、工学部の山田宏尚教授、応用生物科学部の椎名貴彦准教授、楠田哲士准教授の各研究室で行われている研究について、先生方と女子大学院生の皆さんからお話いただきました。参加した高校生は、それぞれの研究室でお話を聞いたり、時には実際に機器を体験させてもらい、多大の関心を示していました。

(7月27日の岐阜新聞と7月24日の中日新聞に、長良高校の研究室見学の記事が掲載されました。)



▲獣医生理学研究室



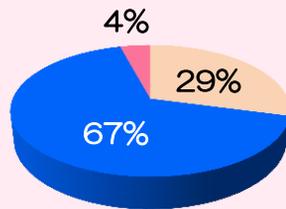
▲動物繁殖学研究室



▲流域圏科学研究センター

研究や研究者に対するイメージを持つことができましたか？

- とても持つことができました
- 持つことができました
- どちらともいえない



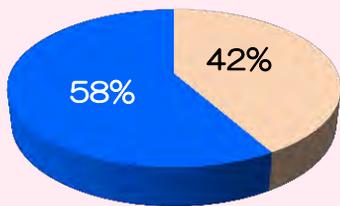
## 【参加女子大学院生】

- ・小林由佳 (教育学研究科)
- ・佐野有希 (連合獣医学研究科)
- ・堀尾明里 (工学研究科)
- ・松本千絵 (工学研究科)
- ・本山亜友里 (工学研究科)
- ・山本彩織 (連合農学研究科)

(50音順) (敬称略)

女子大学院生と交流したことで、大学生活に対するイメージを持つことができましたか？

- とても持つことができました
- 持つことができました



研究室見学の後には高校生と女子大学院生との交流会が設けられ、高校生から女子大学院生に対して大学生活や将来のキャリア、受験勉強の方法などについて多くの質問が投げかけられました。高校生にとっては大学での研究活動を学ぶとともに、理系分野で活躍する「先輩(女子大学院生)」と接することで、自身の進路や将来像を考える良い機会となったようです。

# カモミールこども大学



8月18日・19日に、本学の教職員の子ども（小学生）を対象に「カモミールこども大学」を開催し、20名の小学生と教育学部所属のアシスタント学生が参加しました。

この企画は、子どもの職場理解の促進及び子どもの長期休暇中における本学教職員への保育環境の提供を目的としています。教育学部、工学部、医学部附属病院、岐阜フィールド科学教育研究センターの教職員の方々のご協力により、様々な体験学習をおこなうことができました。

グループごとに協力して活動し、楽しく有意義な2日間を過ごすことができ、大好評でした。



18日

岐阜フィールド科学教育研究センター長の田中逸夫先生と職員さんに野菜収穫体験をさせていただいた後に、ピザとマヨネーズを作りました。



教育学部美術教育の辻泰秀先生と学生さんに教えていただき、クレヨンクラッチの作品を作りました。

乾いた墨汁を削ると、鮮やかな絵が浮かび上がりました！



クレヨンの上にペーパーパウダーを塗りました。



墨汁を塗っています。



ピザ生地をばよばよしてよく伸びるね。



出来上がったマヨネーズは、収穫したきゅうりで試食しました。



19日

附属病院ドクターヘリのフライトドクター、操縦士さん、整備士さんからお話を聞いたり、ヘリの搭乗体験をしました。

へ～！韓国でも子どもの頃は唐辛子が苦手なね。



工学部電気電子・情報工学科の尹己烈先生に韓国文化を教えてくださいました。ビニール袋を切ってチェギを作りました。チェギを蹴鞠のようにけったり、野球ボールに見立てて遊ぶことができました。



ヘリ見学の後は、室内でドクターヘリの活躍を勉強♪附属病院事務職員さんによるドクターヘリクイズ大会は大盛り上がり！みんなドクターヘリ博士に認定されました。



教育学部保健体育の熊谷佳代先生と一緒にストレッチやダンスをして、楽しくいっぱい体を動かしました。



Qヘリの燃料タンクはどこにあるでしょう？  
A1.プロペラの下  
A2.床の下  
A3.実は人が潜んでいる



岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL：http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 Tel：058-293-3378 Fax：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

\*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。